

交付申請書記入用計算シート（令和3年度補正）

【補助対象期間 1事業年度の基準日数:282日】

ただし、当該年度の2月が29日までの場合は、283日

交付申請書(様式第1)の「補助対象経費」「補助金申請額」に記載する金額は、
下記により算出した、その結果をそれぞれの欄に転記する。 ※作成要領4.(1)を参照

下記項目の 部分に入力。 があるものは、該当数字を選択

I. Y 補助対象経費(円) を、以下の式により計算する。

$$Y = X \times E / 282 \times (1 - A / (B \times 60))$$

X (円)		充填量 (k g)	
A ; 充填時間 (分)	0.0	月～金の営業日数 <small>法定点検による休業日を含む</small>	
B ; 総営業時間 (h)		土・日・祝の営業日数	
E (日) <small>1事業年度の基準日数を上限とする</small>	0.0	商用運用日数 <small>(予定)</small>	0.0

Y 補助対象経費 (円) #DIV/0!
一円未満を切り捨て

II. 補助金申請額(円) を計算する。

Yの金額の2/3(円) ① 0
一円未満を切り捨て

Z ; 補助上限額(円) ② 0
一円未満を切り捨て

交付規程第5条第3項の定めにより、別表2から水素供給設備の供給方式や水素供給能力を鑑みて適切なものを選択する

D (円) 22,000,000
1事業年度あたりの補助上限額

$Z = D \times E / 282$ <商用運用日数による補助上限額;Z(円)>

補助金申請額(円) 0 ①と②のどちらか低い金額

A: 充填量(kg)の計算根拠

B: 総営業時間(h)の計算根拠